

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11091	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	急性期看護援助論 (Critical Care Nursing)				
担当教員名	○小澤知子/原田竜三/松尾まき				
授業の概要及び到達目標					
<p>○概要： 本科目は、健康状態の急激な変化により生命の危機状態にある人の理解および回復における援助を行うために基盤となる知識とその臨床的応用を学修することを目的とする。</p> <p>授業内容は、急性期にある対象と家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、特に周手術期にある対象の回復過程におけるアセスメントと看護援助について、事例を用いて理解を深める。</p> <p>○到達目標：</p> <p>①急性期にある対象の特徴と看護を説明できる。</p> <p>②侵襲と生体反応を理解し、対象の回復過程に応じたアセスメントとケアについて説明できる。</p>					
準備学習等					
<p>① 平常授業で理解の確認を行うため、予習を必ず行い臨むこと。</p> <p>② 本科目の予習・復習の時間は、各回2時間が必要である。</p>					
成績評価の方法	各回の確認テスト40% 定期考査60% その他、授業への取り組み参加態度を考慮する				
テキスト	※「臨床事例で学ぶ急性期看護のアセスメント」(小澤知子：メディカ出版)				
参考図書	<p>※「周手術期看護論」(雄西智恵美：ヌーベルヒロカワ)</p> <p>※「周術期の臨床判断を磨く手術侵襲と生体」(鎌倉やよい：医学書院)</p>				
備考	<p>① 本科目は、急性期・慢性期看護学実習の履修前提条件である。</p> <p>② 本科目は3年生後期から始まる急性期慢性期看護学実習に直結する内容である。</p> <p>③ 「体の仕組みと働きⅠ」「体の仕組みと働きⅡ」「臨床薬理学」「病態生理学」「疾病治療論」について復習しておくこと。</p> <p>④ 出席については20分以上の遅刻を欠席とみなす。</p> <p>⑤ 遅刻の場合、確認テストは参加できるが、点数の上限は60点とする。</p> <p>⑥ 確認テスト、事例課題は授業最終日に返却する。</p> <p>⑦ 事例課題の配布は第3回目授業、フィードバックは第15回授業日に行う。</p> <p>⑧ 本科目の相談等についてはオフィスアワーを利用すること。(履修案内を参照)</p>				

## 授 業 計 画

- 第1回 オリエンテーション  
 <急性期にある対象の理解> (講義/小澤)  
 ・急性期看護の活動の場  
 ・急性状態が生じる原因  
 ・急性期にある対象とその家族の特徴
- 第2回 <急性期看護の役割と特徴> (講義/小澤)  
 ・急性期にある患者を取り巻く医療や看護の視点  
 ・急性期看護の役割  
 ・急性期領域で発生しやすい医療事故と医療過誤  
 ・急性期看護における看護過程
- 第3回 <侵襲による生体反応の理解> (講義/原田)  
 ・生体侵襲と心身の反応  
 ・手術、麻酔による生体反応の特徴  
 ・侵襲による体液の変化  
 ・術後合併症の好発時期  
 ・確認テスト  
 ・課題事例配布
- 第4回 <身体的側面のアセスメント①呼吸> (講義/小澤)  
 ・呼吸器系のアセスメントの視点  
 ・呼吸器系に影響する個別因子  
 ・手術療法による呼吸器への影響  
 ・呼吸器の術後合併症  
 ・術前から術後の看護  
 ・確認テスト
- 第5回 <身体的側面のアセスメント②循環> (講義/原田)  
 ・循環器系のアセスメントの視点  
 ・循環に関する情報  
 ・手術療法による循環への影響  
 ・ショックの5徴候  
 ・循環器の術後合併症  
 ・術前から術後の看護  
 ・確認テスト
- 第6回 <身体的側面のアセスメント③消化と排泄> (講義/松尾)  
 ・消化と排泄のアセスメントの視点  
 ・消化と排泄に関する情報  
 ・手術療法による消化と排泄への影響  
 ・消化と排泄の術後合併症  
 ・術前から術後の看護  
 ・確認テスト
- 第7回 <身体的側面のアセスメント④活動と休息> (講義/松尾)  
 ・活動と休息のアセスメントの視点  
 ・活動と休息に関する情報  
 ・手術療法による活動と休息への影響  
 ・活動と休息の術後合併症  
 ・術前から術後の看護  
 ・確認テスト

- 第8回 <心理的側面・社会的側面のアセスメント> (講義/原田)
- ・心理的、社会的側面を理解する理論
  - ・心理的、社会的側面のアセスメントの視点
  - ・手術療法による影響
  - ・術前から術後の看護
  - ・確認テスト
- 第9回 <術前のアセスメント> (講義/松尾)
- ・手術に関する意思決定
  - ・術前の身体的リスクアセスメント
  - ・術前の心理的アセスメント
  - ・術前の看護
  - ・確認テスト
- 第10回 <術式によるアセスメント> (講義/原田)
- ・手術室への入室から退室までの流れ
  - ・術中情報のアセスメント
  - ・開腹手術による身体への影響
  - ・腹腔鏡手術による身体への影響
  - ・確認テスト
- 第11回 <回復促進のアセスメント①創傷治癒過程> (講義/松尾)
- ・創傷治癒過程のアセスメントの視点
  - ・創傷治癒過程と促進因子
  - ・創傷遅延と術後合併症
  - ・術前から術後の看護
  - ・確認テスト
- 第12回 <回復促進のアセスメント②疼痛> (講義/小澤)
- ・疼痛の概念と分類
  - ・術後疼痛管理の目標と方法
  - ・術後疼痛による反応と影響
  - ・術後疼痛への看護
  - ・確認テスト
- 第13回 <回復促進のアセスメント③早期離床> (講義/原田)
- ・早期離床の概念
  - ・早期離床の効果
  - ・離床の判断
  - ・早期離床を促進する看護
  - ・確認テスト
- 第14回 <ハイリスクのある患者のアセスメントとケア：高血圧、糖尿病、虚血性心疾患> (講義/小澤)
- ・ハイリスクのある患者のアセスメントの視点
  - ・手術療法におけるハイリスクのある患者への影響
  - ・ハイリスクのある患者の身体的評価
  - ・ハイリスクにある患者の看護
  - ・確認テスト
- 第15回 <手術を受ける患者のアセスメント事例展開> (講義/原田)
- ・課題事例のアセスメント